

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ 氏名	ササキ ユウコ 佐々木 裕子	職名 人間学部	教授 健康栄養学科	取得学位 (大学名)	障害学博士(医博) 東北大学大学院医学系研究科 (取得年月)2005年3月
------------	-------------------	------------	--------------	---------------	--

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概要
① 教育内容・方法の工夫 ・国や県と連携した学生教育の充実	2015～2018年度	河北新報社と東北大学が主催する「元気・健康フェア」に毎年参加している。2日間 9000名の来場者に対して、減塩のPRを行う。あわせて、和食がユネスコの世界遺産に登録されたことを受けて、「だしを味わう和食」の日の周知と「だし」の試飲を学外授業としてとりあげた。
	2015～2018年度	宮城県の委託事業として、塩エコキャンペーンを展開。スーパーや市町村の健康まつりにおいて、広く宮城県民に減塩の啓発普及を行う。特に、2017～2018年度は富谷市、JCHO 病院、協会けんぽ、イオン富谷店と協働でキャンペーンを展開し、ゼミの学生も参加した。
	2015～2018年度	企業(味の素ファンデーション)、NPO 法人(あすとつながりセンター)と連携して、仙台市の仮設住宅や復興住宅で学生とともに料理教室を行う。2018年からは塩竈市の復興住宅でも展開している。
	2015～2018年度	復興庁および宮城県被災者健康支援事業の補助金を得て、ゼミの学生とともに女川町の応急仮設住宅、復興住宅等の食生活支援を行う。
	2018年度	アメリカ栄養士研修を企画実施し、希望する学生とともに、ロサンゼルスで食文化の研究をおこなった。UCLAの学生食堂、オーガニックスーパー、さらにはハリウッドセレブの間で人気のビーガン料理について勉強、食文化について研鑽を積むことができた。
	2019年度	味の素ファンデーションと共同で「ふれあいの赤いエプロン」プロジェクトを開催し、被災地の支援活動を行った。石巻市・女川町・気仙沼市をはじめ

<p>・講義の工夫</p> <p>② 作成した教科書、教材、参考書</p> <p>・公衆栄養学実習～事例から学ぶ公衆栄養プログラムの展開～ (改訂版)</p> <p>・新編 内部障害のリハビリテーション(第2版)</p>	<p>2021～2023 年度</p> <p>2024 度</p> <p>2015～2018 年度</p> <p>2015～2018 年度</p> <p>2016～2018 年度</p> <p>2019 年度</p> <p>2019 年度</p> <p>2016 年</p>	<p>め、さらに 2019 年度は、国立栄養研究所と共同で、宮城県丸森町の台風による被災地支援を行った。</p> <p>宮城県の企画する「ベジプラス 100&塩エコキャンペーン」において学生に野菜のレシピを応募させ、毎年 3 名県知事より表彰を受ける。選ばれたレシピは商品化され、株式会社イオンで販売された。いずれも好評を得た。</p> <p>学生が考案したレシピを、ブンレブンジャパンとの共同企画において商品化した。考案されたレシピは東北のセブンイレブンで 3 週間販売された。</p> <p>宮城県の健康栄養調査の分析結果を「公衆栄養学」、「公衆栄養学各論」の講義に取り入れながら、結果の解釈、栄養改善事業の計画、立案、実施、評価に至るまでの一連の流れを総合的に講義する。</p> <p>市町村の健康増進計画や食育推進計画についても、学生に実際の作業過程を示し、学生自身が自主的に学ぶことができるように構成した。また、近年の学生の体力低下や筋肉量低下を鑑み、栄養と身体活動の演習を行い、来る 2020 年の東京オリンピックに向けて、管理栄養士のあるべき姿を研究している。</p> <p>さらに、食のグローバル化にむけて、また管理栄養士の素養を高めるため、料理そのものだけでなく、日本人が世界に誇るべき「自然を尊ぶ」という和の気質に基づいた「食」に関する「習わし」を授業内で伝えている。</p> <p>宮城県は脳血管疾患が多いことから、減塩に力をいれた授業を展開し、「NHK きょうの健康」において、減塩レシピを紹介し、学生の授業にも反映させた。</p> <p>宮城県の野菜摂取キャンペーンにゼミで参加し、野菜たっぷりメニューを試作し、応募した。</p> <p>新しい食事摂取基準に基づいた改訂版を作成。</p> <p>糖尿病の栄養指導を加筆した。</p>
--	---	---

新編 内部障害のリハビリテーション(第3版)
 新編 内部生涯のリハビリテーション(第4版)

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
[著書] エキスパート管理栄養士養成シリーズ 公衆栄養 学実習(第3版)	共著	2016年3月	化学同人	上田伸男・ <u>佐々木裕子</u> 他10名		p123-134
新編 内部障害のリハビリテーション(第2版)	共著	2017年6月	医歯薬出版株式会社	上月正博 <u>佐々木裕子</u> , 他21名		p295-299 p313-316 p325-328
宮城の医療と健康		2018年10月	河北新報社(元気!健康!フ ェア in とうほく)	<u>佐々木裕子</u>		p107-109
NHK きょうの健康テキスト		2019年10月	おいしい減塩レシピ	<u>佐々木裕子</u>		p44-45
新編 内部障害のリハビリテーション(第3版)		2020年6月	医歯薬出版株式会社	上月正博 <u>佐々木裕子</u> , 他21名		P290-303
食育ハンドブック		2021年9月 2022年9月 2023年9月	宮城県・エフエム仙台	村井嘉浩 <u>佐々木裕子</u>		

<p>[論文]</p> <p>Randomized controlled trial of educational intervention to increase consumption of vegetables by Japanese university students</p> <p>運動中のマスク着用が引き起こす「身体的・心理的ストレス増強」の医学的・栄養学的評価</p> <p>コロナ禍におけるマスク着用運動の安全性: 不織布マスク着用一運動が「心機能」と「身体的・心理的ストレス値」に与える影響の評価</p>		<p>2019年12月</p> <p>2021年10月</p> <p>2022年10月</p>	<p>Health Education (Science Journal of Public Health)</p> <p>公衆衛生情報みやぎ 10月号</p> <p>公衆衛生情報みやぎ 10月号</p>	<p>Ohtsuki, Makoto; Shibata, Katsumi; Fukuwatari, Tutomu; <u>Sasaki, Yuko</u>; Nakai, Kunihiko,</p> <p><u>Sasaki Yuko</u>, Katumasa kawahara</p> <p><u>Sasaki Yuko</u>, Katumasa kawahara</p>		
<p>[報告書]</p> <p>宮城県食育推進計画 第4次宮城県食育推進計画</p> <p>第2次大崎市総合計画 第2次大崎市総合計画(後期計画)</p> <p>第2次石巻市健康増進計画 第2次石巻健康増進計画改訂版</p>		<p>2016年3月 2024年3月</p> <p>2017年3月 2022年3月</p> <p>2017年3月 2023年3月</p>	<p>宮城県報告書</p> <p>大崎市総合計画報告書</p> <p>石巻市健康増進計画報告書</p>	<p>宮城県健康推進課</p> <p>大崎市政策課</p> <p>石巻市健康推進課</p>		

第2次大崎市健康増進計画 第2次大崎市健康増進計画後期計画 げんき加美町 21 第2次大崎市食育推進計画改訂版 第3次みやぎ 21 健康プラン 第4期塩竈市食育推進計画	2019年2月	大崎市健康増進計画報告書	大崎市健康推進課		
	2024年3月	大崎市健康推進課報告書			
	2019年3月	加美町第Ⅲ期健康増進計画報告書	加美町保健福祉課		
	2022年3月	大崎市世界農業遺産推進室報告書	大崎市世界農業遺産推進室		
	2024年3月	宮城県健康推進課報告書	大崎市		
	2024年3月	宮城県塩竈市報告書	塩竈市		

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数

学術研究発表		
発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所
保育者のストレス状況に関する調査—予備調査の結果から—	2019.2	第89回日本衛生学会学術総会
管理栄養士・栄養士のストレス状況に関する横断調査—調査方法と中間報告—	2019.9	第66回日本栄養改善学会(富山県)
内部障害ハイリスク健診者における栄養指導の有効性	2020.2	第10回腎臓リハビリテーション学会学術集会(東京)
内部障害ハイリスク健診者の保健指導	2020.2	腎と脂質研究会(仙台)
不織布マスク着用とエアロバイク運動：ストレススコア(SS)の解析	2021.3	第11回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会

運動中のマスク着用が引き起こす「身体的・心理的ストレス増強」の栄養学的評価	2022.8	宮城県公衆衛生学会
Development of nutritional assistance tools for the relief supplies systems at each stage after a disaster	2022.8	日本災害食学会(東京)
地域の食文化と健全な食生活を支える日本の食育	2024.5	第10回日本栄養改善学会東北支部学術総会

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
日本栄養改善学会	日本栄養改善学会評議員(平成20年~22年)	平成10年4月(1998年)
日本栄養士会		平成10年4月(1998年)
宮城県公衆衛生学会		平成10年4月(1998年)
日本公衆衛生学会		平成11年4月(1999年)
日本病態栄養学会		平成15年4月(2003年)
日本高血圧学会		平成15年4月(2003年)
日本腎臓学会		平成15年4月(2003年)
学校保健学会		平成16年4月(2004年)
日本心臓リハビリテーション医学会		平成20年4月(2008年)
日本糖尿病学会		平成25年4月(2013年)
日本腎臓リハビリテーション医学会	理事(平成31年~現在)	平成31年1月(2019年)

III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度(西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額(円)
(公益財団法人)味の素ファンデーション	2019年度		「ふれあいの赤いエプロン」プロジェクト委託費	125440
仙台市	2020年度		いずみ絆プロジェクト	100000

仙台市	2021 年度		いずみ絆プロジェクト	100000
仙台市	2022 年度		いずみ絆プロジェクト	100000
宮城県	2023 年度		宮城県県民健康栄養調査委託費	2000000
宮城県	2023 年度		みやぎ県民大学助成金	50000

3. 特記事項

宮城県食育推進会議委員(会長)
 「みやぎ21健康プラン」有職者ワーキング委員
 「みやぎ21健康プラン」評価ワーキング委員
 石巻市健康増進計画策定委員, 計画推進アドバイザー
 加美町食育推進会議委員(会長)
 女川町食育推進会議委員(会長)
 広域石巻圏地域エコチル調査運営協議会委員
 大崎市総合計画審議員
 加美町健康増進計画アドバイザー
 宮城県栄養士会会長賞受賞 (2017年7月)
 大崎市健康増進計画推進員(会長)